

## グルジア 5 都市による姉妹都市提携の希望

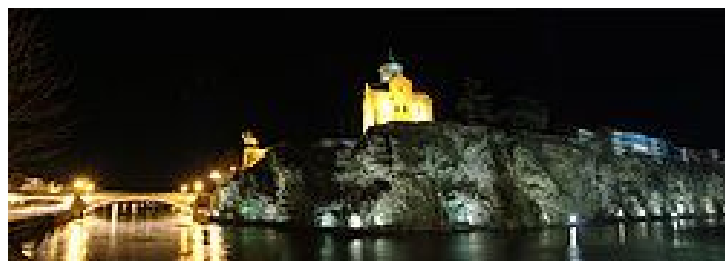
2011年9月  
駐日グルジア大使館

今般、グルジアの5都市（トビリシ、ムツヘタ、クタイシ、バテウミ及びポチ）より、日本の地方自治体との姉妹都市提携を希望する旨の要望がありました。以下、5都市の概要を紹介いたします。

### トビリシ

トビリシ（Tbilisi、グルジア語でთბილისი）はグルジアの首都にして最大の都市。ムトゥクヴァリ（Mt'k'vari、別名クラ（Kura）川の河畔に位置しています。トビリシという名前は初期のグルジア語「T'pilisi」に由来し、1936年まではティフリス（Tiflis、グルジア語でთიფლისი）が正式名でした。面積は726 km<sup>2</sup>、人口は148万人です。

トビリシは、グルジアのイベリア（Iberia）王国の王であったワフタンク・ゴルガサリ（Vakhtang Gorgasali）によって5世紀に建設され、6世紀に首都となりました。現在では、産業、社会、文化の重要な中心都市であると同時に、世界市場におけるエネルギーと貿易の重要な輸送ルートとしても台頭しつつあります。戦略面では、ヨーロッパとアジアの十字路に位置し、歴史的なシルクロード沿いにあるため、トビリシは敵対する勢力と帝国間の争いの的となることも少なくありませんでした。この都市の歴史は、ルスタヴェリ通り（Rustaveli Avenue）と、中世の雰囲気を残すナリカラ要塞跡を仰ぐ旧市街を結ぶ細い通りが調和する場所に建つ建築物からうかがい知ることができます。



（トビリシのパノラマ写真。メテヒ教会（Metekhi Church）、5世紀グルジアのワフタンク・ゴルガサリ王の像、ムトゥクヴァリ川が見える。）

トビリシ市の人口構成は多様で、歴史的にも、この都市には多様な文化と宗教、民族出身の人々が

	
座標：北緯 41 度 43 分 0 秒 東経 44 度 47 分 0 秒／北緯 41.716667 度 東経 44.783333 度	
市長：	ギオルギ・ウグラヴァ（Giorgi Ugulava）
人口：	1,152,500 人
ウェブサイト	<a href="http://www.tbilisi.gov.ge">www.tbilisi.gov.ge</a>

暮らしてきました。キリスト教正教が圧倒的主流ですが、トリビシはシナゴグとモスクが隣り合わせに建つという世界でも数少ない都市のひとつです。この光景は、メテヒ教会から数百メートルの位置にある、古い風呂地区（Bath district）で見られます。



## 国際関係

### 姉妹都市

トビリシは以下都市と姉妹都市の関係にあります。

- ドイツ、ザールブリュッケン（1975年より）
- フランス、ナント（1979年より）
- スロベニア、リュブリャナ（1979年より）
- オーストリア、インスブルック（1982年より）
- アルメニア、エレバン（1996年より）
- アメリカ合衆国、アトランタ（1987年より）
- イタリア、パレルモ（1987年より）
  
- 英国、ブリストル（1988年より）
- スペイン、ビルバオ（1989年より）
- トルコ、アンカラ（1998年より）
- ウクライナ、キエフ（1999年より）

## ムツヘタ

(グルジアの古都)

ムツヘタ (**Mtskheta**、グルジア語でმცხეთა) は、(グルジア東部のカルトリ (Kartli) 県にある) グルジア有数の古都で、トビリシの北約 20 km、アラグヴィ (Aragvi) 川とクラ川の合流点に位置しています。この都市 (2008 年 1 月 1 日現在で人口 1 万 9423 人) は現在、ムツヘタ・ムティアネティ (Mtskheta-Mtianeti) 州の行政の中心地となっています。その歴史的重要性と数多く残る古代建造物から、「ムツヘタの歴史的記念建造物群」が 1994 年にユネスコの世界遺産に登録されました。

## 歴史



(ムツヘタのパノラマ写真。アラグヴィ川とクラ (ムトゥクヴァリ) 川の合流点が写る。)

この地には、紀元前 1000 年以前に遡る街の遺跡が残っており、ムツヘタは紀元前 3 世紀から紀元 5 世紀まで、グルジア初期のイベリア王国の首都でした。初期キリスト教の活動の舞台となり、337 年にはこの地にてキリスト教がグルジアの国教と宣言されました。

ワフタング 1 世 (ワフタング・ゴルガサリ) の後継者である、国王ダチ 1 世 (ダチ・ウジャルメリ (Dachi Ujarmeli)) (紀元 6 世紀初頭) は、父の遺言に従い、ムツヘタから防御しやすいトビリシへと遷都しました。しかしながら、ムツヘタはその後も、グルジア歴代王のほとんどの戴冠と埋葬の地としての役割を果たし、それは 19 世紀に王国が終焉を迎えるまで続きました。

この古都はムトゥクヴァリ川とアラグヴィ川の合流点に位置しています。この地では、青銅器時代から栄華を誇ったキリスト教時代に至るまで、稀に見る融合を遂げた文化的価値観が、独特の折衷的生活様式に強い影響を及ぼし、グルジアの歴史と同じく古いこの街の雰囲気を作り出しています。

## 歴史的建造物



ジュヴァリ修道院 (Jvari Monastery)

## クタイシ

クタイシ（**Kutaisi**、グルジア語でკუთაისი。古代名、Aea/Aia、Kutaisi、Kutaïssi）は、グルジア第2の都市で、西部にあるイメレティ（Imereti）州の州都です。トビリシの西 221 km に位置しています。

### 地理

クタイシは、リオニ（Rioni）川の両河岸に広がり、海拔は 125～300 m。東と北東は北イメレティ丘陵地帯（Northern Imereti Foothills）、北はサムグラリ山脈（Samgurali Range）、南西はコルキス平野（Colchis Plain）に取り囲まれています。

	
座標：北緯 42 度 15 分 0 秒 東経 42 度 42 分 0 秒／北緯 45.25 度	
市長：	ギア・テヴドラゼ (Gia Tevdoradze)
人口：	192,500 人
ウェブサイト	<a href="http://www.kutaisi.gov.ge">www.kutaisi.gov.ge</a>

### 歴史

クタイシは、古代コルキス（Colchis）王国の首都でした。紀元前 2 千年紀には既にコルキス王国の首都として機能していたことを考古学的証拠が示しています。ロードスのアポローニオスが記したイアースーンとアルゴナウタイのコルキスへの伝説の旅におけるアルゴナウタイの最終目的地は、コルキス王アイエーテースが居を構えていたクタイシ／アイアであったと、歴史学者によって広く信じられています。クタイシは、西暦 978～1122 年にはグルジア連合王国の首都、15 世紀から 1810 年まではイメレティ王国の首都でした。



### 教育と科学



クタイシは、グルジアで最も重要な教育と科学の中心地のひとつで、12 世紀に国王ダヴィド 4 世（David IV）によって設立された、ゲラティ修道院の科学アカデミー（Gelati Academy of Sciences）があります。また、現代グルジアにおいても有数の教育の中心地であり、1930 年にはアカキ・ツェレテリ国立大学（Akaki Tsereteli State University）が設立されています。これらふたつの教育機関のほか、クタイシには多数の大学や研究機関、単科大学、学校があります。

## バトゥミ

(港湾都市)

バトゥミ (**Batumi**、グルジア語でბათუმი) は黒海沿岸の都市で、グルジア南西部アジャリア (Adjara) 自治共和国の首都です。人口は 12 万 3500 人 (2008 年国勢調査)。

バトゥミは、大きな港を擁する商業的中心地であるばかりでなく、トランスコーカサス鉄道 (Transcaucasian Railway) とバクーからの石油パイプラインの終点でもあります。亜熱帯に属し、柑橘類や茶などの農産物が豊富です。産業には造船や食品加工、軽工業などがあります。

	
座標: 北緯 41 度 39 分 0 秒 東経 41 度 39 分 0 秒 / 北緯 41.65 度 東経 41.65 度	
市長:	ロベルト・チハイゼ (Robert Chkhaidze)
人口:	123,500 人
ウェブサイト	<a href="http://www.batumi.ge">www.batumi.ge</a>

## 歴史

### 初期の歴史



(コルキス主要都市のひとつ、バトゥミ市内に建つメーディアの像。)

バトゥミは、コルキスの古代ギリシャ人植民地の跡地に位置し、バトユス (Bathus または Bathys) と呼ばれていました。これは「深い港」を意味する、ギリシャ語「bathus limen」または「bathys limin」に由来しています。ハドリアヌス帝 (在位: 117~138 年) の治世下で、ローマの要塞港に転換されたのち、ユスティヌアヌス 1 世 (在位: 527~565 年) 時代にペトラに要塞が建設されると荒廃しました。ローマ/ビザンティンの部隊が駐屯しましたが、一時的にアラブ人に占領されるまで、公式にはラジカ (Lazica) 王国の領土でした。

9 世紀には、タオ・クラルジェティ (Tao-Klarjeti) のバグラティド (Bagratid) 王国の一部となり、10 世紀末には、その後継であるグルジア連合王国の領土となりました。

1010 年からは、グルジア国王の代理である副王



(eristavi) によって統治されました。14 世紀後半には、グルジア王国の分裂を受けて、バトゥミはグリア (Guria) の諸侯に引き継がれました。



## ポチ

ポチ (Poti、グルジア語でგოთი、ミングレル語でგუთი、ラズ語でგაში/ファシ (Fashi)。トルコ人からはかつて「ファシュ (Faş)」と呼ばれた) はグルジアの港湾都市で、同国西部サメグレロ・ゼモ・スヴァネティ (Samegrelo-Zemo Svaneti) 州の黒海東岸に位置しています。古代ギリシャの植民都市ファシスがあった場所近くに建設されたこの都市は、20世紀初頭より、主要な港湾都市および産業の中心地となりました。また、グルジア海軍の主要基地と本部もあります。ポチの港湾地域は、2008年4月に発足したグルジアとアラブ首長国連邦のプロジェクト枠組みに則り、自由経済圏となる計画です。

	
座標：北緯 42 度 09 分 0 秒 東経 41 度 40 分 0 秒 / 北緯 42.15 度 東経 41.666667 度	
人口：	47,149 人
ウェブサイト	<a href="http://www.poti.ge">www.poti.ge</a>

## 地理と気候

ポチはグルジアの首都トビリシの西 312 km に位置し、グルジア西部を流れる主要河川、リオニ川が黒海に注ぐ河口に形成された湿地の三角州にあります。海拔は 2 m。ポチ周辺地域の一部は湿地を埋め立てた土地で、現在では柑橘類の農園もあります。この都市はコルヘティ国立公園 (Kolkheti National Park) に囲まれています。

## 語源

ポチという名前は、ファシスに関連があると思われませんが、語源を巡っては研究者の論争になっています。

「ファシス (Phasis)」(ギリシャ語で Φάσις) が最初に記録されたのはヘシオドスの『神統記』(紀元前 700 年ごろ) で、町ではなく、川の名として記されています。



## 歴史

### 古代および中世の歴史

ポチとその周辺地域の記録に残る歴史は 26 世紀にわたります。古代ギリシャ・ローマ時代と中世初期、この地域は、ギリシャの都市国家ファシスによって占領されており、紀元前 7 世紀末、もしくは紀元前 6 世紀初頭にテミスタゴラス (Themistagoras) に率いられたミレトスの入植者たちによって建設されました。

この植民地を巡っては、長年にわたり疑念や学術的な議論がありましたが、厳しい状況下での水中考古学の調査により、その存在が立証されたようです。古代ギリシャの博識な地理学者ストラボンが、ファシスの片側と境界を接すると報告した湖は、現在では植民地跡地を飲み込んでいる、あるいはその一部となっています。